

会計



石川 祐二



高野 学



森田 佳宏



李 焱



栗城 綾子



内山 峰男

マーケティング
・流通



姉齒 暁



大野 哲明



中西 大輔



番場 博之



吉村 純一

貿易・金融



小西 宏美



深見 泰孝



吉田 真広

租税法（税理士）



北口 りえ



岩波 文孝



長山 宗広



堀 龍二



松田 健



柳 裕治

経営・情報



松本 典子



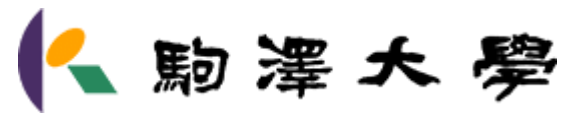
吉田 健太郎



中濟 光昭



山田 雅俊



留学生の皆様へ

アジアで通用するスペシャリスト養成を目指して



商学研究科委員長：石川 祐二

本研究科は、流通・マーケティング、経営・情報、会計・租税法、貿易・金融の各分野の優れた教授陣を擁しており、留学生向けの取り組みとして入試やカリキュラムの改革を行い、発展著しいアジアで活躍する高度専門職業人を育成しています。

留学生には、大学院での研究のみならず、希望に応じて、社会で求められるIT資格の取得をサポートします。資格を取得し、富士通・NTTデータ・アクセンチュアなど大手IT企業で活躍する人もいます。

皆様には、本研究科での専門的な学びを通じて力をつけ、将来的に社会で大いに活躍していただけるよう、最大限の指導・支援を行っていきたくと考えています。

研究科の特徴・目標

履修科目の一例

日本での就職を希望する留学生やスキルを身につけたい日本人学生向けの履修科目例です。

科目名	単位
貿易論特講a,b	各2
マーケティング論特講a,b	各2
中国ビジネス論特講a,b	各2
国際金融論特講a,b	各2
ERPシステム実践研究a,b	各2
国際会計論特講a,b	各2
経営管理論特講a,b	各2
現代企業論特講a,b	各2
経営戦略論特講a,b	各2
論文技術指導a,b	各2

修了のために必要な単位数は、修士論文を選択した場合は30単位、課題研究を選択した場合は36単位です。修士論文(40,000字以上)または課題研究(20,000字以上)のどちらを選択しても、修了要件を満たせば修士の学位が授与されます。

留学生の皆様へ、特に強調したい本研究科の特徴は、以下の通りです。

研究指導に関しては、1年次から「複数指導制」をとることとなっています。主たる研究分野を担当する「指導教員」の演習の他に、「副指導教員」の演習を受講し、綿密な指導を受けることができます。

また本研究科には、中国人の教員が所属しているため、とくに中国人留学生に対しては、母国語できめ細かいサポートを行うことが出来ます。さらに日本語で論文を書くためのライティング技術を中心に、テーマに関する日本語の語彙、文法など論文執筆に必要な準備教育を行います。

皆様が、流通・マーケティング、金融・貿易、経営・情報、会計などに関する学術研究能力および高度専門職業に必要なプロフェッショナルな能力を持ち、アジアで活躍できる人材になることです。

研究科について

商学研究科は中国を中心として多くの留学生を受け入れています。「日本語能力試験」のN1合格者や「日本留学試験」の基準点以上の得点者は筆記試験が免除されます。また、演習・講義とも少人数で、きめ細かい研究指導が行われています。

研究テーマの例

「女性の活躍」推進に向けた雇用の現状と課題
- 「働き方」・「働き方」改革とワーク・ライフ・バランス -

公正価値会計に関する一考察
- 中国と日本の比較を中心として -

データベース・マーケティングによる顧客ロイヤルティの向上
- CRMに関する取り組みと顧客行動の予測についての考察 -

台湾における日系百貨店の販売促進戦略
- 新光三越のポイントカードの事例を中心に -

中国における日本化粧品企業の販売戦略に関する一考察
- 資生堂とコーセーの事例を中心に -

コンテンツツーリズムと地域活性化
- アントレプレナーシップの視点から -

ERPによるコスト・マネジメント
- 日本企業のグローバル調達コストの課題を中心として -

連続的組織変革における組織文化の影響

中国におけるアパレル企業のブランド成立条件に関する一考察

中国における影の銀行
- その伝統的商業銀行制度に及ぼす影響 -

高等学校商業教育の今日的役割と普通科における商業教育の導入に関する一考察

租税法律不遡及の原則に関する一考察
- 譲渡所得課税における損益通算の事例を中心として -

修了生から一言

陳 雅彬

私は商学研究科で、ERPという様々な業務を処理するシステムの研究をしました。ERPが処理する金融や流通等についていろいろな先生に学ぶことができました。ゼミでは、先生や仲間と深い議論ができます。日本の会社や台湾の大学と一緒に学ぶことは、とてもためになり、充実した学生生活を送りました。そして、日本を代表する大手ITメーカーに就職できました。日本で就職したい留学生にとっては、理想的な環境だと思います。

主な進路

中国人留学生の主な就職先は以下の通りです。日本の優良企業に就職し、日中の架け橋ともいえる人材として活躍しています。

- Pricewaterhouse Coopers Hong Kong
- ラオックス
- 三菱電機情報ネットワーク
- NTTデータグローバルソリューションズ
- HIS
- 日通
- 中国建設銀行
- 信義房屋不動産
- 富士通
- アクセンチュア

社会人の皆様へ

税理士+ICT人材を育成



商学研究科委員長：石川 祐二

本研究科では、社会人向けの取り組みとして、流通・マーケティング、経営・情報、会計・租税法、貿易・金融の各分野の優れた教授陣によるカリキュラムを充実させ、これからの社会に求められる高度専門職業人の育成を行っています。

昼間を主とした時間割となっているものの、社会人に配慮した授業時間割によって、夜間と土曜日の履修のみで全教育課程を修了できるように構成されています。特に、税理士・ICT人材の育成に力を入れ、皆様に社会で活躍していただけるよう、最大限の指導・支援を行っていきたく考えています。

研究科の特徴

社会人の皆様に、特に強調したい本研究科の特徴は、多様なスペシャリスト養成プログラムです。

税理士の養成では、税理士試験の科目免除者を輩出し、既に多くの実績があります。

2021年度から、新たなスペシャリスト養成プログラムとして、ITコンサルタントコースを設置しました。このコースでは、人工知能、データサイエンスおよび世界シェアNo.1であるSAP社のERPシステムを使った実習や資格取得、IT企業でのインターンシップなど実践的な授業により、キャリアアップにつながる実力を付けることができます。

さらに、これからの税理士に求められる、ITを活用した実務等を実習するため、複数指導制を活用して、ITコンサルタントコースを同時に履修することも可能です。

「ITコンサルタント」はどんなコース？

SAP社のERPを題材にして、データベース、データ分析、基幹業務システム、財務会計といったトピックスを概観し、さらに人工知能など先端のトピックスを理解することで、ITコンサルティングの基礎を理解します。SAP社のERP資格や日本データーニング協会G検定の合格をめざし、成果の見える化を進めます。

「税理士」を目指す場合の利点は？

修士課程を修了すると、税理士試験の科目免除制度を利用することができます。会計科目の場合は2科目中1科目の免除、税法科目の場合は3科目中2科目の免除を受けることができます。特に有利な税法科目免除を目指す場合は、「税法に属するテーマの修士論文の執筆」と「租税法（講義）」の履修が条件です。商学研究科では会計科目が充実しているので、それらを履修することも重要です。

さらに、ITに関する科目を履修し、ITがわかる税理士となることもできます。

研究科について

商学研究科は1966（昭和41）年に修士課程、1968（昭和43）年に博士後期課程を設立し、半世紀を超える歴史の中で多数の有能な人材を輩出してきました。本研究科は、広い視野に立った学問研究と、商学・経営学・会計学の3分野に関する専門的な理論的・実践的研究を通じて、経済社会の諸問題を解決しうる高い研究能力や専門能力を備えた研究者・教育者および高度専門職業人の養成を理念・目的としており、社会人の受け入れを推進し、グローバルに活躍する人材を養成するための高度専門教育に取り組んでいます。

特色のある科目

スペシャリストを目指す社会人に履修してほしい科目を紹介します。

科目名	概要
マーケティング論特講	マーケティング理論とその応用分野の知識の習得を目標に、文献講読を行います。
中国ビジネス論特講	中国が抱える不均衡発展の歪みや構造矛盾を明らかにし、中国経済の最近の動向を理解します。
アントレプレナーシップ論特講	「アントレプレナーシップ論（中小企業の国際化）」に関するテキストを輪読します。最終的に、受講者全員が実際に事業計画（ビジネスプラン）を作成します。
地域経済論特講	グローバル化の進展下、現代経済における「中小企業」と「地域」という存在を再評価し、それらの「イノベーション」を図るための理論面と実態面の双方から学習を進めます。
情報システム論特講	企業情報システム発展の経緯とERP（Enterprise Resource Planning）の役割を学習することにより、顧客に改善策を提案するITコンサルティングに必要なERPに関する知識を習得します。
ERPシステム実践研究	会計知識をベースにERPシステムの理論と実践に関する発展的な内容について講義します。
業務の統合化とERP	企業の基幹システムの役割を主に会計的な視点から学習します。
統計学特講	データサイエンスで必要となる、統計学の基礎と応用について講義します。
人工知能ビジネス論特講	人工知能をビジネスで応用するための基礎知識を習得します。

修了条件

修了のために必要な単位数は、修士論文を選択した場合は30単位、課題研究を選択した場合は36単位です。税理士試験科目免除を希望する場合は、演習として、租税法もしくは会計の科目を履修し、修士論文（40,000字以上）を選択する必要があります。

それ以外では、課題研究（20,000字以上）を選択することが可能です。いずれの場合も、修了要件を満たせば修士の学位が授与されます。